

# 北海道大学低温科学研究所共同利用研究集会「氷河の流動および変動に関する研究集会」

日程： 2012 年 8 月 23 日～8 月 24 日

会場： 北海道大学 低温科学研究所 3F 講堂

## プログラム

### 8 月 23 日(木)

- 13:00～13:10 趣旨説明
- 13:10～13:40 南極ラングホブデ氷河での熱水掘削と棚氷下での観測  
杉山慎(北大低温研), 澤柿教伸(北大環境), 福田武博(北大低温研)
- 13:40～14:10 ラングホブデ氷河熱水掘削, ボアホールカメラの映像と海底堆積物の解析速報  
澤柿教伸(北大環境), 杉山慎, 福田武博(北大低温研)
- 14:10～14:40 南極ラングホブデ氷河における表面流動速度測定と氷厚探査  
福田武博, 杉山慎(北大低温研), 澤柿教伸(北大環境)
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～15:30 南極リュツォ・ホルム湾周辺での GPS を用いた氷河・氷床流動測定の取り組み  
土井浩一郎(極地研)
- 15:30～16:00 JARE53 で実施した白瀬氷河上での GPS 観測結果について  
青山雄一(極地研)
- 16:00～16:20 休憩
- 16:20～16:50 ALOS PRISM 画像を用いたヒマラヤの氷河流動解析(リルンカルナナ)の話(仮)  
縫村崇行(名大環境)
- 16:50～17:20 ブータンヒマラヤにおける氷河湖形成と氷河表面低下への影響  
津滝俊(名大環境)
- 17:20～17:50 ブータン・ヒマラヤにおける氷河の空間分布および降水量空間解析の試み  
永井裕人(名大環境)
- 19:00～ 懇親会

### 8 月 24 日(金)

- 10:30～11:00 ブータン氷河湖インベントリについて&アルゼンチン氷河台帳プロジェクト  
山之口勤(リモートセンシング技術センター)
- 11:00～11:30 パタゴニアにおける氷河流動観測(1968-98年):見通し、三角、トラバース、干渉 GPS 測量  
成瀬廉二(NPO 氷河・雪氷圏環境研究舎)
- 11:30～12:00 南パタゴニア氷原カービング氷河の流動速度と末端変動(仮)  
榊原大貴(北大低温研)
- 12:00～13:30 昼食
- 13:30～14:00 合成開口レーダーでとらえたパタゴニア氷河の流動速度の時空間変化  
武藤みなみ(北大理)
- 14:00～14:30 合成開口レーダーで捉えた西クンルン山脈の山岳氷河表面速度場の多様性(仮)  
安田貴俊(北大理)
- 14:30～15:00 合成開口レーダーによるユーコンの氷河流動測定(仮)  
阿部隆博(北大理)
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～15:50 北極圏の氷河観測  
榎本浩之(極地研)
- 15:50～16:20 氷河の流動および変動に関する課題一考(仮)  
内藤望(広工大)
- 16:20～17:00 2012/13年、2013/14年パタゴニア観測計画  
杉山慎(北大低温研)
- 17:00～ 総合討論
- 18:30～ 懇親会